

正。一正專背の突進も、戦後農民の生活不安の反映たるものあり。
 正。一正專背の突進も、戦後農民の生活不安の反映たるものあり。
 正。一正專背の突進も、戦後農民の生活不安の反映たるものあり。
 正。一正專背の突進も、戦後農民の生活不安の反映たるものあり。
 正。一正專背の突進も、戦後農民の生活不安の反映たるものあり。
 正。一正專背の突進も、戦後農民の生活不安の反映たるものあり。
 正。一正專背の突進も、戦後農民の生活不安の反映たるものあり。
 正。一正專背の突進も、戦後農民の生活不安の反映たるものあり。
 正。一正專背の突進も、戦後農民の生活不安の反映たるものあり。
 正。一正專背の突進も、戦後農民の生活不安の反映たるものあり。

財団法人 協同會 福岡出張所

後、急速に社會不安は高まりつゝある非常時に際し二三の三百代
 言の口につて、我利我利根性の悪地主どもがこの會社に立てこ
 もる事は却つて小作農民を刺戟し、いかなる難關にぶつかつても
 必死の生活防衛闘争をする決心を深めるのみである。下記の兩組
 合は全能力を擧げ、共同の力を以て、土地會社と抗争する事を誓
 ふものである。

- ▲耕作農民に土地の完全なる利用を保證せよ！
- ▲農村にノサバる吸血遊食地主を放逐せよ！
- ▲肥料代は地主が出せ、サモなくば小作料をウンとまける！！
- ▲小作人は直ちに農民組合に加入せよ！
- ▲非國民的土地會社を打倒せよ！

昭和八年十月十七日

財団法人 協同會 福岡出張所